

松岡敬明 (まつおか・たかあき)

東京都立中学校英語教諭、東京都教育庁人事部・指導部指導主事、渋谷区教育委員会指導主事、杉並区教育委員会指導室長・同庶務課長、東京都教職員研修センター教育開発課長、東京都立中学校校長を経て、平成27年度から十文字学園女子大学人間生活学部教授。主として教員養成・英語教育に携わっており、同大学の教職課程センター長を務める。第38代全日本中学校長会会長、中央教育審議会臨時委員等を歴任。



管理職選考合格への流儀 (第127回)

教育管理職とはどのような職なのか?

(十文字学園女子大学教授、元全日本中学校長会会長)

松岡 敬明

校長は先生か?

始業式・入学式等の年度初めの行事が一通り済み、そろそろ通常の学校生活が軌道に乗る頃だ。入学式の校長式辞においては、新入生はもちらんのこと、その保護者の方々にも児童・生徒を安心して通わせることができる学校であるとの印象をもってもらえただろうか? 始業式においては、転入生にも配慮した挨拶をしたのだろうか? 筆者は校長時代、転入生があった場合には、始業式や朝礼で必ず紹介して、歓迎の言葉を述べたものだ。転校先で心細い思いをしているかもしれない転入生を、

教育者としての管理職の関わり方

管理職が教育者としての一面を持

校長が朝礼等で紹介する。おそらく、その子は帰宅して家人にそのことを話すだろう。「いい学校でよかったね」などという家庭の会話が聞こえてきそうだ。

教育管理職は経営者でありながら、時には教育者としての顔を持つ。教頭(副校長)・校長は、児童・生徒や保護者・地域住民から見れば教育者なのだ。単に教頭・校長ではなく、教頭先生・校長先生なのだ。この点、一般行政の管理職とは大きく性質を異にするところだ。

定義に会ったことはあまりない。辞書によれば、つかさどるとは、「掌る・司る」と書き「役目として担当する。支配する。統率する。」とある。

また、「4管理2監督です」という決まり文句のような答えもよくある。まるで算数の九九のように暗唱してきた様子で、即答する受講者も多かった。そこで、「4管理、2監督とは何ですか?」と尋ねてみる。

多くは、「はい、4管理とは、学校教育、所属職員、学校施設、学校事務の管理、それから2監督とは所属職員の職務上及び身分上の監督です」と、これも教科書どおりの答えが返ってくる。そこで、「では、学校事務の管理とは、具体的に何をすることですか?」と聞いてみる。このあたりになると、あやしい答えも出てくる。

次に、「それでは、今皆さんがおっしゃった校長の職務を小学校1年生の児童に説明するとしたら、どのように言いますか?」と尋ねてみる。この質問には、苦慮する受講者も多かった。おそらく「教育課程の編成

つとはいえ、どこまで児童・生徒の教育に直接関わってあげればよいのだろうか。このあたりが悩ましい。教諭職が行うべきことを管理職が行ってしまっはいけない。

筆者は校長時代、すべての新入生と一学期に個人面談を行った。面談においては、3年後の自分の姿を思い描かせ、卒業時には何ができるようにになりたいか、また、どのように成長して卒業していきたくかを問い、これからの中学校生活の目標を考えるきっかけをつくってみた。高校入試を控えた3年次や卒業間近の面談もよいが、入学直後の校長との個人面談は、生徒にとっても意味深いも

や実施の管理などということをして小学校1年生に何と説明すればいいのだろうか?」と頭の中が真っ白になった受講者もいたことだろう。さて、読者諸氏なら、何と説明するだろうか? 例えば、「学校がバスだしたら運転手さん」などという説明をすれば、1年生の児童は納得してくれるかもしれない。

教育管理職を目指す上で、自身で「教育管理職とはどういう職なのか?」をしっかりと考え、自分なりの定義をすることを勧めする。もちろん法令に規定されている職務内容を理解することが第一ではあるが、自身の言葉で、自身の考えを確立してみてはいかがだろうか?

あなたはどうか考えるか?

- ・教育管理職とはどのような職か? 自身の言葉で定義してみよう。
・「4管理2監督」とは、それぞれ具体的に何をすることなのか?